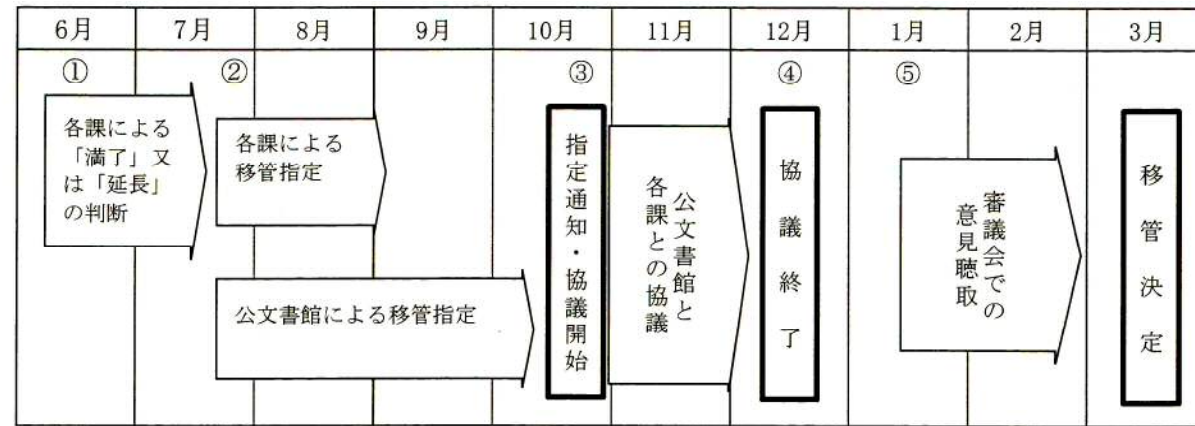


移管指定の経過について

【平成26年度保存期間満了簿冊の移管指定スケジュール】



※1 昨年度より約1か月半前倒しで作業を開始

※2 昨年度、公文書館が移管指定したものが延長されるという事例が多かったことから、移管指定作業に先行して延長作業を実施

① 各課では、6月から7月にかけて、26年度満了予定簿冊について、保存期間満了（＝来年度以降は業務上使用しない）か、保存期間延長（＝来年度以降も業務上使用する）かを判断しました。

【7月17日時点の満了・延長の状況】

状況	件数	割合	備考
満了	102,958	90.8%	公文書館に移管又は廃棄
延長 ㉞	10,408	9.2%	後年次に移管か廃棄かを検討
合計	113,366		

② 各課では、7月中旬から8月末にかけて、保存期間満了と判断した簿冊の中から、公文書館に移管する簿冊を指定しました。また、並行して公文書館でも、移管を求める簿冊を指定しました。その結果、各課では188件を指定し、公文書館では354件を指定しました。

【公文書館の移管指定状況】

状況	件数	割合
移管指定	354	0.3%
公文書館のみ指定 ㉟	212	
双方で指定 ㊸	142	
未指定（＝廃棄）	102,604	99.7%
合計	102,958	

【各課の移管指定状況】

状況	件数	割合
移管指定	188	0.2%
各課のみ指定 ㉞	46	
双方で指定 ㊸	142	
未指定（＝廃棄）	102,770	99.8%
合計	102,958	

③ 10月23日に、公文書館及び各課の指定状況を各課へ通知し、12月中旬まで、公文書館と各課で判断の異なる簿冊（㉞及び㉞）の取扱いについて協議を行いました（㊸については、双方の判断が一致しているため移管に決定）。

【公文書館のみ指定簿冊の協議結果】

状況	件数	割合
移管 ㉟	145	68.4%
延長 ㉞	12	5.7%
指定取消（＝廃棄） ㊸	55	25.9%
合計	212	

【各課のみ指定簿冊の協議結果】

状況	件数	割合
移管 ㉞	2	4.3%
延長 ㉞	16	34.8%
指定取消（＝廃棄） ㊸	28	60.9%
合計	46	

㊸の主な事例：工事関係文書で別に台帳が整備されていた事例、簿冊名称から推測した内容と実際の内容が異なっていた事例

㊸の主な事例：主務課の文書が別に存在する事例、長期保存文書が別に存在する事例

④ 26年度満了予定簿冊の最終的な状況は、下表のとおりとなりました。

現時点での移管率は0.3%となっていますが、保存期間30年の簿冊のうち2,120件（85.8%）が延長されており、これまでの実績から、そのうちの50%程度は保存期間満了時に移管されると考えられることから、最終的には移管率は1.2%程度となる見込みです。

【26年度満了予定簿冊の最終状況（全体）】

状況	件数	割合
移管 ㊸+㉟+㉞	289	0.3%
延長 ㉞+㉞+㉞	10,436	9.2%
満了（＝廃棄）	102,641	90.5%
合計	113,366	

【26年度満了予定簿冊の最終状況（保存期間別）】

保存期間*	移管	延長	満了（＝廃棄）	合計
30年	156 (6.3%)	2,120 (85.8%)	196 (7.9%)	2,472
11～29年	7 (4.3%)	32 (19.8%)	123 (75.9%)	162
10年	72 (0.9%)	1,996 (26.3%)	5,523 (72.8%)	7,591
10年未満	54 (0.1%)	6,288 (6.1%)	96,799 (93.9%)	103,141
合計	289 (0.3%)	10,436 (9.2%)	102,641 (90.5%)	113,366

※ 簿冊登録時に設定された保存期間であり、実際の保存年数とは異なる。

⑤ 廃棄予定簿冊のうち10年以上保存されたものについて、公文書管理審議会にて意見を聴取し、最終的な移管簿冊・廃棄簿冊を決定します。